

環境報告書 2026

ENVIRONMENTAL REPORT 2026

豊前東芝は、新しい未来を始動させるために
SDGs（持続可能な開発目標）の取組みを加速させていきます。



**SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS**





豊前東芝エレクトロニクス株式会社は、水源の森として知られる犬ヶ岳や国指定史跡である求菩提山、貴重な自然が残る周防灘の干潟、さらには「岩屋権現の大杉」や「虎尾桜」を有する福智山など、豊かな自然環境を未来へ継承するため、環境への取り組みを企業経営の最重要課題の一つとして位置づけています。

近年、気候変動の影響による猛暑や豪雨災害の頻発、生物多様性の損失、資源循環の重要性など、環境を取り巻く課題はますます多様化・深刻化しております。

一方で、脱炭素社会の実現に向けた取り組みや再生可能エネルギーの普及、サーキュラーエコノミーへの移行など、持続可能な社会づくりに向けた動きも加速しています。

こうした状況の中、私たち一人ひとりが環境問題を自らの課題として捉え、行動につなげていくことがこれまで以上に重要になっています。

当社は、すべての事業プロセスにおいてライフサイクルの視点に立ち、経営と環境との調和を図った企業活動を推進します。

また、省エネルギー、省資源、廃棄物削減などを通じて環境負荷の低減に努めるとともに、社会課題の解決に貢献する取り組みを継続的に実践してまいります。

環境保全責任者 **岸岡 治**

1. 倫理観と継続性

- 1) 法令、その他当社が同意した業界などの指針および自主基準など、当社の環境側面に適用される法的要求事項およびその他の要求事項を遵守します。
- 2) 環境保全活動レベル及び環境パフォーマンスの向上を図るため、監査の実施や活動のレビューにより環境マネジメントシステムの継続的な改善を行い、環境経営の効果的な運用を推進します。

2. 実行

全ての事業プロセスにおける環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、気候変動並びに、循環経済への配慮などに関する環境目標を設定し、積極的な環境施策を展開するとともに、社会課題の解決に貢献する製品を創出・提供していきます。

- 1) 気候変動への対応のため、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みを行います。
- 2) 循環経済への対応のため、事業活動に伴い投入する資源の最小化と3Rを推進し、資源の有効活用の取り組みを行います。
- 3) 生態系への配慮のため、使用する化学物質の適正な管理と削減、水資源並びに生物多様性の保全の取り組みを行います。
- 4) 環境に関する情報発信や地域・社会との相互理解への取り組みを行うとともに、全従業員の環境意識向上への取り組みを行います。

この環境方針は、社内外に開示するとともに、当社で働くすべての人々に周知し、方針に沿った企業活動を推進します。



環境マネジメントシステム

環境マネジメント

継続的な改善や向上に全従業員で取組む仕組みを構築し運用

● ISO14001 外部審査 (2025 年 6 月)

- ・ISO14001：2015 年版規格で認証を取得しています
- ・登録：1996 年 2 月 2 日
- ・更新：2025 年 6 月 4 日 (更新審査)



(2025 年 6 月風景)

● 社内内部環境監査 (2025 年 5 月)

※全 6 部門



(2025 年 5 月風景)

● 東芝デバイス&ストレージ社グループ

環境経営内部監査 (2026 年 2 月)

※ 2025 年度：オンライン審査



環境経営監査、遵法監査、現場監査により
環境問題の発生を未然に防ぎます。

3
全
3
現
主
義

3 全 主義

全域の全設備施設を全員で管理

3 現 主義

現場で現物を見て現実を管理

目視管理

見る、見える、見せる管理



環境負荷状況

最小限の使用と削減（抑制）施策の実行



電力使用量推移

37,152MWh

32,979MWh

2019 年

2025 年



廃棄物総排出量推移

552 t

436 t

2019 年

2025 年



水資源受入れ量推移

77,436 m3

79,024 m3

2019 年

2025 年



化学物質取扱量推移

3.4 t

2.7 t

2019 年

2025 年



電力使用量、廃棄物排出量、化学物質排出量が 6 年前と比較して減少
水使用量については、近年の気温上昇に伴い動力設備の水使用量が増加



従業員の環境教育

教育・訓練

職能や専門性に応じたカリキュラムで教育

※ 21年度よりコンプライアンス強化を目的に『(豊前) 環境リスク・コンプライアンス教育』を追加。

区 分	教育名	対象者	内 容
階層別教育	部長・管理者教育	部長、管理者クラス 課長、主務クラス	環境目的・目標、環境法令、緊急事態など
	一般教育	一般従業員 (常駐会社含む)	
	新入者 / 転入社員教育	新規採用者 / 転入者	
職能別教育	特定業務従業員教育	特定業務従事者	特定作業のルール、逸脱した場合の環境影響など
	法定業務従業員教育	法定業務従事者	法定作業のルール、逸脱した場合の環境影響など
	内部環境監査員教育	内部環境監査員	規格の要求事項、監査員の役割と責任など
その他教育	(豊前) 環境リスク・ コンプライアンス教育	環境改善推進委員 環境事務局	法令順守事項、行政への届出対応など

環境教育テキスト一部抜粋



従業員の環境訓練の実施

緊急事態発生を想定した訓練を実施

- 薬品補給時の漏洩を想定 (ローリー車)
(2025 年 9 月)



- 装置からの油漏洩を想定
(2025 年 9 月)





豊前地区

●各部門による工場周辺の清掃活動

2025 年：6 回（1 回／2 ヶ月）



●豊前市主催クリーン作戦への継続参加

2025 年 10 月



●近隣小学校との海の生物調査（生物多様性保全）

2025 年 5 月



●海岸清掃活動（生物多様性保全）

2025 年 11 月



直方地区

●各部門による工場周辺の清掃活動

2025 年：6 回（1 回／2 ヶ月）



●直方市主催 チューリップ植栽活動への参加

2025 年 12 月



●環境情報の配信（環境報告書発行）

2025 年 11 月

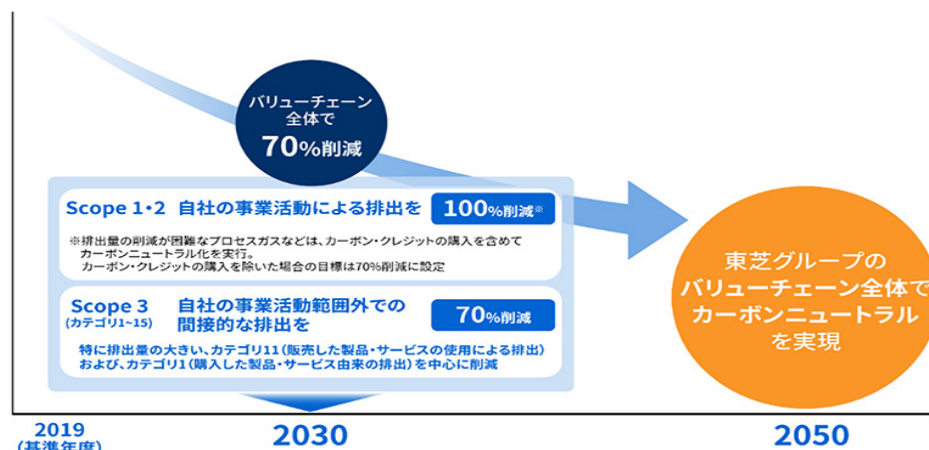




カーボンニュートラルに向けた取り組み

東芝グループは、2050 年度までにバリューチェーン全体でのカーボンニュートラル実現を目指しています。その中間目標として、2030 年度までに自社の事業活動に伴う温室効果ガス排出量（Scope1・2）を 100%削減するとともに、自社の事業範囲外で発生する間接的な温室効果ガス排出量（Scope3）を 70%削減することを掲げています。

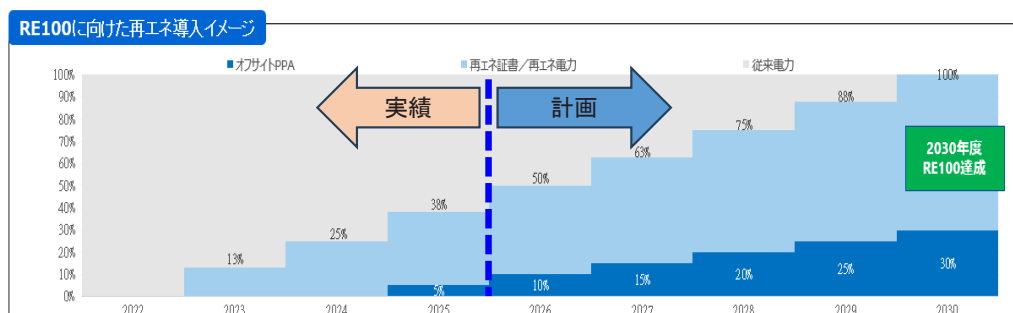
当社は東芝グループの一員として、この目標の達成に向け、事業活動に伴う温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいます。また、再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギー活動の推進に加え、省エネ性能に優れた製品の創出を通じて環境負荷の低減を図り、気候変動への対応を推進しています。



当社では、カーボンニュートラルの実現に向け、製造段階で発生する温室効果ガスの排出削減に取り組んでいます。Scope2 への対応として、省エネルギー設備の導入や削減施策の立案・実行を優先度の高い活動として推進し、温室効果ガス排出量の削減を図っています。

また、非化石証書の購入やオフサイト PPA による再生可能エネルギーの導入を進め、2030 年度までに再生可能エネルギー 100%導入を目標としています。

2025 年度は、オフサイト PPA による再生可能エネルギーの導入（5%）や地道な省エネルギー活動を着実に推進した結果、計画どおり再生可能エネルギー比率約 38%を達成しました。今後も再生可能エネルギーの導入をさらに拡大し、脱炭素化の取り組みを加速することで、カーボンニュートラルの実現を目指してまいります。



事例紹介；工程エアガンからのエア漏れ点検を行い、不要なエネルギーの消費を抑制

工程省エネ点検：『装置エア漏れ・計画停止時の電源OFF』に関する巡視活動

- 活動の目的：工程内の省エネルギー推進と安全性向上を目的として実施しています。
- 実施内容：月1回、エリア単位で巡視を実施し、装置の稼働状況やエア漏れの有無、停止時の電源OFFの確認
- 巡視結果：2025年4月活動開始～8月で装置付帯のエアガンからのエア漏れ、停止設備の電源OFF、装置付帯の照明球切れ事象を計29件確認（全て対応済）
- 省エネ効果：エアガンからのエア漏れ計9件の改善を行ったことにより不要なエネルギー消費を抑制（32,850kWh/年）

● 2025年上期 工程巡視計画及び、巡視結果（高圧エア漏れ）

2025年巡視月	巡視エリア	高圧エア漏れ件数/全体指摘事項件数	高圧エアリーク損失 (kwh/年)
4月	101号棟-西側	1件/8件	3,650
5月	101号棟-東側	2件/8件	7,300
6月	102号棟-西側	2件/3件	7,300
7月	102号棟-東側	4件/5件	14,600
8月	102号棟-2F	0件/5件	
9月	103号棟-1F	計画整合中	
10月～2026年3月	各エリア		

（環境G）資料提供 ※高圧エアリーク損失表

孔の直径	空気漏れ量 (0.064MPa)	コンプレッサー電力消費		
mm	m³/分	kWh/時	kWh/月	kWh/年
1	0.06	0.4	3.00	3,650
3	0.6	4.2	3,000	36,504
5	1.6	11.1	8,001	97,344.6
10	6.3	43.8	31,504	383,294

小さな孔、亀裂、壊れのあるパッキン、継手等からの漏れ空気が積み重なり、大きな損失となります

リーク損失量：32,850kWh/年
電力単価：¥18.3円/kWh
損失金額：32,850kWh×¥18.3/kWh=¥601,155/年
不要なエネルギー消費を抑制



従業員の環境意識向上活動

環境コミュニケーション

従業員一人ひとりが環境パフォーマンス向上のため、自主的に行動できるよう、啓発活動に取り組んでいます。

豊前地区、直方地区（SDGs への取り組み）

● 地産地消（オニメンの提供）

2025 年 7 月

地元で生産された農産物等を地元で消費する。輸送距離が短くなり、CO₂ 排出量の削減につながる。



● 構内での植栽 / 農作活動（食堂・従業員に提供）

2025 年 7 月、10 月、2 月収穫



● 近隣小学校にて半導体出前授業の開催

2026 年 2 月



● 産業廃棄物処分業者へ現地確認の実施

2025 年 11 月



B-Smile・N-grow の環境活動

豊前地区B-Smileとは：未来を担う子どもたちのために環境の大切さを伝え、豊前（**B**uzen）を笑顔（**S**mile）にする推進グループ

直方地区N-growとは：環境活動を通じて個人が成長することで、会社の成長（**g**row）へつなげ直方（**N**ogata）を元気にする推進グループ

● 豊前地区_B-Smile 活動



2025 年 6 月

フードドライブ活動

● 直方地区_N-grow 活動



2025 年 8 月

着なくなったTシャツからエコバッグ作り



地球環境との共生をめざして

豊前東芝エレクトロニクス株式会社

【環境・施設管理担当】